

協議事項10

中学校給食の魅力化について

中学給食の魅力化について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和2年7月6日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 長谷川 達也

中学校給食の魅力化について（案）

1. 中学校給食の魅力化（令和2年度～）

（1）献立内容の充実・牛乳選択制の導入

- ・温かいメニューの提供のほか、主食・副食・デザート類等の充実など、献立内容を充実
- ・牛乳を希望しない場合には主食と副食のみの給食を提供し、家庭弁当の生徒にも希望者には牛乳を提供

（2）ランチボックスのリニューアル

- ・従来のオレンジ色のランチボックスから、5色のおしゃれな容器に全面リニューアル

（3）給食費の半額助成

- ・保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実をはかるため、中学校給食費の半額を助成（全世帯・所得制限なし）

※生活保護世帯・就学援助世帯はこれまで通り全額無償

< 1食あたりの給食費 >

	令和元年度	令和2年度	
ランチボックス（牛乳あり）	300円	337円	⇒
ランチボックス（牛乳なし）	244円	280円	
牛乳のみ	56円	57円	
			保護者負担
			169円
			140円
			29円

※牛乳の価格は兵庫県の入札により毎年変動

2. 温かい給食の提供に向けた課題の検証

（1）一部食缶方式のモデル実施

- ・概要：副食（おかず）のうちメインの主菜を保温食缶を活用して中学校に配送して温かい給食を提供（ランチボックスに教室で配膳）
- ・対象校：各民間調理事業者の給食提供エリアの学校のうち1学年あたり100人程度の学校から数校を抽出予定

（2）親子方式のモデル実施

- ・概要：小学校給食室で調理した給食を中学校に配送して温かい給食を提供
- ・対象校：下記の立地条件の異なる学校から数校を抽出予定
 - ①小学校と中学校が同一敷地内にある
 - ②小学校と中学校の敷地が隣接している
 - ③小学校と中学校が公道を挟んで隣接している